

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
人間の尊厳と自立 Human dignity and independence		1年	前期	別途、時間割表参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択 (介護福祉士養成課程必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
倫理学、社会学				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護福祉士養成課程指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスのアワー	電話番号・メールアドレス	
山田 昇	講義棟2F	月・木・金9:00～17:00 (授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
「人間」の理解を基礎として、人間としての尊厳の保持と自立(自律)した生活を支える必要性について理解し、介護場面における倫理的課題について対応するための基礎となる能力を養う。				
授業の到達目標				
①人間の理解を深め、人間の尊厳と自立(自律)の重要性を理解できるようになる。 ②人間の自立(自律)の概念と構造を具体的に理解できるようになる。 ③介護を必要とする人に対する尊厳の保持と自立支援の必要性を理解できるようにする。 ④介護場面における倫理的課題に対応できる基礎的知識を理解できるようにする。				
授業の方法				
講義を中心に個人の尊厳・権利進学・社会的排除等のケース研究を行い、虐待や不適切介護等、権利擁護の重要性を理解させる。				
学習の成果				
①福祉サービス受給者の個人の尊厳と権利擁護の重要性を理解することができる。 ②権利擁護のための支援の在り方について理解することができる。 ③介護現場における利用者支援の基本的態度の在り方について理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業の進め方、留意事項、成績評価等) 人間の基本的な権利と社会福祉対象者の支援状況について			
第2回目	福祉と人権① 憲法第11条の基本的な権利の尊重と社会的排除について			
第3回目	福祉と人権② 地域・福祉施設・医療機関における人権問題について			
第4回目	福祉と人権③ 人間理解と差別・社会的排除の倫理について			
第5回目	人間の自立と生活① 障害者(知的障害・精神障害を中心として)			
第6回目	人間の自立と生活② 高齢者(認知症高齢者を中心として)			

第7回目	人間の自立と生活④ 特別支援教育と障害児の発達支援について		
第8回目	人間の自立と生活④ 地域における差別・社会的排除(同和問題を中心として)レポーター作成「社会福祉対象者に対する社会的思想と態度について」		
第9回目	人間の自立と生活⑤ 人権教育の現状と課題について		
第10回目	人権尊重と権利擁護① 社会福祉・介護と人権尊重について		
第11回目	人権尊重と権利擁護② 医療と人権尊重・自己決定の原理との関係について		
第12回目	人権尊重と権利擁護③ 福祉従事者としての職業倫理について		
第13回目	人権尊重と権利擁護④ 事例研究を通して問題点を探る		
第14回目	まとめ～医療保険・福祉・介護・教育場面における尊厳の尊重と人権擁護について～		
第15回目	まとめ～現代社会における人権問題を考える～ 定期試験		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	20%	授業態度、出席状況等を総合的に判断する
	レポート	10%	第1回～第8回までの講義内容に関するレポート作成とする
	調査報告書		
	小テスト		
	中間・学期末試験	70%	論文(記述式)とする
	発表内容(態度含む)		
	その他		
教科書と参考図書			
教科書:「人間の理解」介護福祉士養成講座・中央法規 参考書・参考資料:授業の都度指示、資料を配布する			
履修上の心得・ルール			
社会福祉現場における虐待・不適切な支援・事例等を新聞等を通して収集しておくこと			